

## 令和3年度「全国学力・学習状況調査」の結果について

5月27日に6年生を対象に全国学力・学習状況調査が実施されました。七次台小学校では、次のような傾向が見られました。本校の指導方針として、今後もさらに成果を伸ばすとともに、課題を克服すべく様々な方策を練っていきたいと思っております。

### 学力状況調査より

---

#### 【国語】

○ = よかった項目      ▲ = 課題のある項目

##### <全般>

○学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う力。

▲文章表現やスピーチで、自分の主張が相手に明確に伝わるように構成を考える力。

##### <話すこと・聞くこと>

○進んで話したり書いたりしようとする意欲。

▲話す際に資料を用いる目的について理解する力。

##### <書くこと>

○目的や意図に応じて、自分の考えの理由や根拠を明確にして書こうとする意欲。

▲自分の主張が明確に伝わるように、文章全体の構成や展開を考える力。

##### <読むこと>

○文章全体の構成を捉え、内容の中心となる事柄を把握する力。

▲目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約したり、質問に対する答えを記述したりする力。

##### <言語の理解, 技能>

○学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う力。

○文の中における修飾と被修飾との関係を捉える力。

▲文の中における主語と述語との関係を捉える力。

#### 【算数】

##### <全般>

○速さと道のりを基に時間を求めたり、条件に合う時刻を求めたりする力。

○棒や帯グラフから、データを正確に読み取る力。

▲図形の面積を求める際、必要な情報を選び出して面積を求めることや、その方法を筋道立てて説明する力。

##### <数量関係や測定>

○日常生活の問題を解決するために、示された場面を解釈し、必要な数量やその関係を捉え、数学的に表現・処理する力。

▲問題場面の数量の関係に着目し、わり算が用いられる場合を理解したり、わり算の結果の意味を理解したりする力。

##### <図形>

○直角三角形を組み合わせた図形の面積について考える力。

▲図形の計量について、図形を構成する要素に着目して面積を求めたり、筋道を立てて説明したりする力。

### <データの活用>

- 身の回りの事象について、データを分類整理したり、表やグラフからデータの特徴や傾向を読み取ったりする力。
- ▲グラフで表された複数のデータを比較し、示された特徴をもった項目とその割合を言葉と数を用いて記述する力。

## 児童質問紙調査より

---

### <社会性>

- 「学校に行くのは楽しい」と思う児童の割合が高い。
- ▲「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある」機会が少ない。

### <人間関係>

- 「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う」児童が多い。
- 「学級の友達との間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、友達の考え(自分と同じところや違うところ)を受け止めて自分の考えをしっかりと伝えよう」とする児童が多い。
- ▲「自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表している」児童が少ない。

### <ICT活用>

- 「携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っている」児童が多い。

### <家庭学習>

- 学校の授業時間以外に、ふだん(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をする(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)時間が多い。
- ▲学校の授業時間以外に、平日1日当たりの勉強をしている(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)時間が少ない。

## 結果を受けて

---

国語科では、文章を的確に要約するために、目的に応じて文章全体から必要な部分を選び、内容を端的に説明させる機会を増やします。また、相手に自分の考えが伝わるように話したり、書いたりするためには、話や文章全体の構成や展開を筋道立てて考えることが大切です。そのために、各教科での発表場面では、時間をとって念入りに準備をさせるようにします。さらに、日常の授業の中でも発言させる場、話し合う場など、話す機会を意図的に増やすことで表現する力を伸ばしていきます。

算数科では、図形の面積を求める際、図形を構成する要素などに着目して必要な情報を選び出し、面積の求め方について筋道を立てて説明できるようにさせていきます。また、図形の面積の学習で「公式」を導き出す過程において、図形のどこの長さに着目すると、面積を求めることができるのかを具体的に考えさせるようにします。また、学習したことが生活の中でどのように生かされるのかを具体的に感じさせるとともに、友達との話合いの中で自分の考えを深めることで自信がもてるようにしていきます。

朝食をとらない児童がごくわずかにいるものの、保護者の皆様のご協力により、決まった時刻に寝たり起きたりするなど規則正しい生活が概ねできています。「学校に行くのが楽しい」と感じている児童が全国平均より多いことが何よりです。また、話し合うことに重きをおく児童が多く、自分と違う友達の意見を大切にしようとする気持ちが育っている点も、今後さらに伸ばしていきたいです。しかし、地域の方とのふれあいを拒むことはないものの、地域の活動への参加の仕方がわからない児童が多いことや、その機会が少ない傾向も見られます。保護者や地域の方々と力を合わせて、活動の場を少しでも増やしていけたらと思います。